

シミュレーションモデル適用事例シート

	大分類	道路施設	小分類	インターチェンジ	シミュレーションモデル名	AVENUE			
概要	適用事例名	東関道 IC への ETC 導入の影響評価について							
	目的・概要	ETC が本格運用に入った東関道の IC において、ETC を導入したことによる効果と、導入後の一般街路への影響を事前評価した。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴	ETC 混用ゲート、ETC 専用ゲート、一般ゲートの組み合わせによる導入効果の分析(ETC 混入率に対する料金所運用方法の分析)							
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	IC を含む約 500m 四方			対象時間帯	平日 7:00~19:00			
	評価対象時期	平成 12 年、平成 14 年、平成 17 年							
	対象道路網	一般街路ネットワーク							
	ネットワーク規模	ノード数	9	リンク数	13	起終点ノード数	5	総トリップ数	約 58000
		一般街路ネットワーク		交差点数	2	信号交差点数	2	道路区間数	5
		自専道ネットワーク		分岐部数	0	出入口数	1	道路区間数	3
	特記事項	(ネットワークの概略図面を添付)							
									
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線構成						
		交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長						
		合流部							
	信号制御	設定パラメータ	サイクル長、スプリット、オフセット						
		作成方法	実測						
	交通需要	設定単位	OD 交通量						
		作成方法	観測値(交差点方向別交通量)から推定						
空間単位									
時間単位		15 分単位							
車両属性区分	小型、大型								
その他									
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式 1 秒/1 スキャン							
	パケットサイズ	1 台/1 パケット							
	経路選択原理	経路選択の必要なし							
	特記事項								
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	飽和交通流率						
		方法	区間平均旅行時間、通過断面交通量が実測値に近くなるように設定						
	検証方法	区間平均旅行時間、通過断面交通量の比較							
検証用データ取得方法	調査により取得								
出力データ	区間平均旅行時間、区間平均旅行速度								
記入者	所属機関・部署	株式会社 熊谷組 土木本部社会システム部 交通システムグループ							
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-5576	HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/index.html			
公表文献・資料等									